

【2026年3・4月】ポプラ社一般書単行本刊行予定

※記本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

4月

ジャンル	題本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
企画	4月1日	189641	1分小説	浜口 倫太郎	1,400	四六判並製	188	1979年、奈良県生まれ・在住。漫才作家、放送作家を経て、2010年『アゲイン』（のち、『もういっぺん。』に改題して文庫化）で、第5回ポプラ社小説大賞特別賞を受賞し、翌年小説家デビュー。著作に、ベストセラーとなった『22年目の告白-私が殺人犯です』のほか、『宇宙（そら）にいちばん近い人』『お父さんはYouTubeバー』『ワラグル』『天空遊園地まほろば』など多数。漫画原作者としても活躍の幅を広げている。	ある日、とつぜんテレビやスマートフォンが「夜の管理者」を名乗る集団にジャックされた。「お前たち地球人の思い上がりは目にあまる。見せしめとして、三十日後に月を消す」回避する方法は、毎日デバイスに送られてくる「1分小説」に潜んだヒントを読み解いて、彼らの「真実の名」を言い当てること――。1分で読める小説を30作収録し、予想外の展開が待ち受ける碎物語をつて構成した、手軽に読めて面白い新感覚の小説集。
企画	4月13日	189666	わたしのなかにある巨大な星	伊藤 紺	1,700	四六判並製	未定	歌人。1993年東京都生まれ。著書に歌集『気がする朝』（ナナロク社）、『肌に流れる透明な気持ち』『満ちる腕』（ともに短歌研究社）。俳優・上白石萌歌の写真展『かぜとわたしはうつろう』への短歌提供など活躍の場を広げる。既刊はすべて重版。本作が初エッセイ。	話題を呼んだ短期連載6本に、書き下ろしエッセイ20本を加え書籍化。「歌の完成」「短歌をはじめた日」「エッセイがむずかしい」「言葉の箱」「書けない時期」「みんなはあなたじゃないんです」など、社会となじめなかった自身の性格や経験をまじえつつ、「創作」について真摯に綴ったエッセイ集。デザインは脇田あすか。本文中にも掲載するイラストはDaisuke Kondo。
企画	3月30日	189269	シラカンスに会いに行く	著：高野真吾 監修：沼津港深海水族館、鈴木直樹	未定	四六判並製	240	1976年生まれ。埼玉県川越市出身。ジャーナリスト、元全国紙記者。早稲田大学政治経済学部在学中に早稲田大学水中クラブに入り、4年間で約200本のダイビングをこなす。同時に水中写真にはまり、コンクールに応募した経験も。同大卒業後の1998年に報道機関に入社。社会、経済、国際ニュースに幅広く携わりながら、次第にネットニュースにも活動の幅を広げる。単著『カジノ列島ニッポン』（集英社新書、2024年9月）、共著『12階から飛び降りて1度死んだ私が伝えたいこと』（光文社新書、2019年4月）。	進化しないことが、長く生きる条件だった!? マッチョなわりに、かけて早くは泳げない。鏝のような硬いウロコ、陸上生物の手足を思わせる頑丈なヒレ、だがけて早くは泳げない……。3億5000年前の太古から、姿を変えずに絶滅を乗り越えてきた奇深な深海魚シラカンス。「生きた化石」を追い求めた人びとの熱狂と、知られざる生態の謎に迫る。
文芸	4月20日	189658	ミント邸で夜の茶会を	斎藤 千輪	1,800	四六判並製	188	東京都町田市出身。映像制作会社を経て、放送作家・ライターとして活動。2017年、第2回角川文庫キャラクター小説大賞・優秀賞を受賞した『窓がない部屋のミス・マーシュ 占いユニットで謎解きを』でデビュー。著書に、第2回双葉文庫ルーキー大賞を受賞した『だから僕は君をさらう』のほか、「ビストロ三軒亭」「神楽坂つきみ茶屋」「グルメ警部の美食捜査」の各シリーズ、『出張シエフはお見通し 九条都子の謎解きレシピ』『魔城の林檎』『憧れの貴婦人レシピ』など多数。	海街の高山に佇む洒落な洋館、通称ミント邸。ここでは週末の夜だけイブニングテイアのサロンが開かれる。看板メニューはおいしい紅茶と瀬戸内の食材をふんだんに用いたスイーツ。マダムのお茶会は趣味的紅茶占いとお客様の悩みにヒントをくれる――と思いきや、実際に謎を解くのは、義理の息子で極上のスイーツをつくるパティシエの社馬だ。様々な悩みを解きほぐすふたりだが、実はこのサロンを開いているのには理由があって…。

3月

ジャンル	題本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	3月2日	189276	はるを呼ぶ	実石沙枝子	1,800	四六判並製	256	1996年、静岡県生まれ。『踊れ、かっぱれ』で第11回ポプラ社小説新人賞・奨励賞を受賞。2022年『きみが忘れた世界のおわり』（『リメンバー・マイ・エモーション』から改題）で第16回小説現代長編新人賞・奨励賞を受賞し、デビュー。他の作品に『物語を継ぐ者は』『17歳のサリーダ』『雨谷家の不思議な家じまい』『マッドのイカれた青春』などがある。	海沿いの小さな田舎町に暮らす晴奈は、高校三年生。母親は、晴奈のことを「小春」と呼ぶ。小春は晴奈の姉で、高校三年生だった10年前に忽然と姿を消してしまった。いつしか「小春は神隠しにあったの」と町中で噂されるようになり、晴奈の一家は周囲から避けられるようになっていく。姉の失踪ですべてが変わってしまったある日、無人の公衆電話が鳴る。恐る恐る電話に出た晴奈の耳に聞こえてきたのは、失踪した姉の声だった。
文芸	3月2日	187746	まどろみの星たち	菟野江名	1,800	四六判並製	336	1993年生まれ。三重県出身、東京都在住。裁判所書記官として働きながら『つぎはぐ、さんかく』で第11回ポプラ社小説新人賞を受賞し、デビュー。著書に『さいわい住むと人のいう』がある。	ある事情から夜に眠れなくなってしまい、休職していた保育士の文乃。昼夜逆転した生活リズムであれば眠れるようになり、夜間勤務のある24時間営業保育園「つぎの保育園」に転職する。厳しい現代社会の中でも懸命に子育てする親と、親をひたむきに愛する子どもたち。文乃はそんな親子の力になりたいと願い、真摯に向き合っていく……。暗闇にあたたかな光を灯す傑作。
企画	3月2日	189252	ネコテン	ポノス	1,300	四六判並製	128	「にゃんこ大戦争」の公式ショップ「にゃんこ大商店」の公式Xで不定期連載されているWEBマンガ。オリジナルキャラクターである雇われネコ店長とうっかりネコ店員が「にゃんこ大商店」で繰り広げる、ドタバタしたり、のんびりほのほのしたお仕事ライフの様子がSNSを中心に話題となっている。	にゃんこ大戦争公式ショップの人気WEBマンガが、待望の書籍化！雇われネコ店長と、うっかりネコ店員が繰り広げる、ドタバタしたり、のんびりしたり、でも「それもいいよねえ」と思えるようなほのほのお仕事マンガ。書籍には、ここでしか読めない書き下ろしエピソードも収録！お店を始めるきっかけをくれた「オーナー」との秘話、時折お店に送られてくる手紙など。あたらしい「にゃんこ」ワールド、開店です！
企画	3月9日	189290	没頭飯	空気階段 鈴木もぐら	1,500	四六判並製	192	1987年千葉県生まれ。水川かたまりとお笑いコンビ「空気階段」結成。TBSラジオ『空気階段の踊り場』ではリアルすぎる私生活トークが話題。2021年『キングオブコント』優勝。キャンブル好き、離婚と波乱万丈な人生を笑いに変える芸人として、唯一無二の存在感を放っている。	空気階段・鈴木もぐら初書籍！ 食いたいものに没頭し、食いただけ食う。これ以上の幸せがあるだろうか――もぐらさんの「食」に対する探求心と愛がぞんぶんに感じられる連載を書籍化。父親・母親との思い出から、部活動、股関節手術、交友関係まで、「食」を通してもぐらさんの人生が垣間見られます。語り下ろしエッセイ、書き下ろしエッセイも追加収録。
文芸	3月16日	189283	最果てキッチン	高山環	1,800	四六判並製	280	『夏のビルグリム』で第12回ポプラ社小説新人賞奨励賞を受賞。『ふたりの余命 余命一年の君と余命二年の僕』（宝島社文庫）でデビュー。	レストラン開業の直前に妻を失った料理人・田所圭介は、彼女が残した意味深い写真に導かれ九州にやってくる。「撮影地を知ることで妻の気持ちを探ることができるのでは」という思いに駆られ、車中泊をしながら各地を巡ることにするが、道中では様々な人々と触れ合うことに。事情を抱えながらもたくましく生きる人々を助けたいと料理を振る舞ううちに、圭介は自分自身の心とも向き合うようになる。やがて妻の真意も見えてきて――。
企画	3月16日	189610	杏のとことこバリ子連れ旅	杏	1,500	四六判並製	300	1986年、東京生まれ。俳優・モデルとして活躍する。「ごちそうさん」「花嫁舞が黙ってない」などドラマや映画に多数出演。著書に『杏の気分ほろほろ』『杏のふむふむ』などがある。	「双子3歳4カ月、長男1歳10カ月。今振り返っても、よくまあ連れていったと思う」バリに引越すきっかけとなった、子どもたちとの3回の旅。やりたいと思ったら、やってみる！子連れ旅の楽しさと大変さをビビットに描く、軽やかな日記エッセイ。巻末に「杏のバリ案内」を収録。
文芸	3月23日	182246	猫鳴く森で謎解きを	楠谷佑	1,800	四六判並製	368	1998年、富山県生まれ。埼玉県在住。高校在学中に『無気力探偵～面倒な事件、お断り～』（マイナビ出版）でデビュー。他著書に『家政夫くんは名探偵！』（マイナビ出版）シリーズ、『案山子の村の殺人』（東京創元社）など。	全寮制男子校・霧森学院のヒナタとエチカはルームメイト。夏休み、二人は友人の輩連に誘われ、「猫と会えるキャンプ場」のボランティアに行くことに。他校の生徒たちも参加しており、計10人でボランティアを行うという。しかし、キャンプ2日目、1人の生徒が何者かに殺害された。容疑者9人の中から“消去法推理”で最後の1人に残るのは誰だ――?! 新進気鋭の作家が贈る、青春本格ミステリ！